

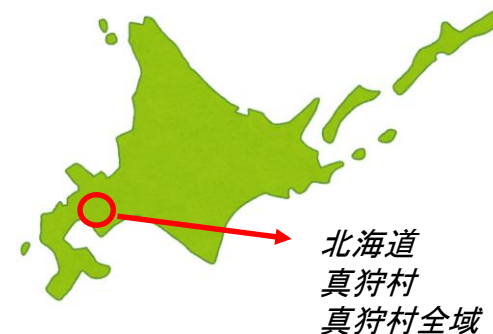
取組の概要

取組の概要 : 高収益作物の作付拡大による収益力の向上
 計画作成主体 : 真狩村地域農業再生協議会
 対象品目 : 人参 (産地面積:181.1ha)
 主な取組主体 : 北部人参収穫機械利用組合
 御保内人参収穫機械利用組合
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加(10a当たり)
 助成金の活用 : 生産支援事業 (機械リース)
 状況 (収穫機 4台)

ポイント

当地域を含むJAようてい管内においてにんじんの産地拡大を進めており、当地域においても収益性の高いにんじんへの作付転換を進め、生産拡大に対応した収穫機をリース導入することにより、高品質・安定生産を図り、販売額の10%以上の増加を実現。

地区の概要



産地の現状と目標

〈現状:H27年度〉

作付面積 : 138.3ha
 出荷数量 : 7,390t
 広域JAによる集出荷選別施設を活用し、JA管内全体でにんじんの作付拡大を図っている

〈目標:H31年度〉

作付面積 : 181.1ha
 出荷数量 : 9,760t
 にんじんへの作付転換を図り、産地としての販売額を増加



推進体制

地域の関係者(真狩村、ようてい農業協同組合真狩支所、農業改良普及センター、農業関係者等)が一体となり、事業を推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- 「強い農業づくり交付金」及び「攻めの農業実践緊急対策事業」を活用し、近隣の京極町に集出荷選別施設を新設。
- JAようてい人参生産組合と連携して地域に適した優良品種の選定試験を実施。

事業効果

収穫機の導入により、高収益作物である人参への作付転換を促進し、作付面積の拡大により生産量と販売額の増加を図り、産地としての収益力の強化を実現。

～地域の販売額の増加～

